

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	11,337	12,125	20,119	20,119
事業費計		(千円)	11,337	12,125	20,119	20,119
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.30		
		時間外勤務 (時間)	2.00	42.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	2,123	2,139		
事業コスト		(千円)	13,460	14,264		

R02年度当初積算根拠	【12委託料】
	単価×消費税×見込枚数（見込人数） 敷布団 3,200円×1.1×1,419枚=4,994,880円 掛布団 3,200円×1.1×1,402枚=4,935,040円 毛布 1,000円×1.1×1,374枚=1,511,400円 配送料 4,500円×1.1×1,753人=8,677,350円 計 20,118,670円 計 20,119千円

予算の方向性	理由	令和元年度までは、集配と丸洗い乾燥を別個に委託していたが、集配業者の方針変更により分けて委託することができなくなり、令和2年度からは集配から丸洗い乾燥まで一括して委託できる業者を選定する必要があるため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	1	事業の継続について検討する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	4,821	5,714	6,088	6,088	
事業費計		(千円)	4,821	5,714	6,088	6,088	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.20			
		時間外勤務 (時間)	215.00	104.00			
	臨時職員等	(有無)	有	有			
人件費		(千円)	1,240	1,613			
事業コスト		(千円)	6,061	7,327			

R02年度当初積算根拠

【19扶助費】計 2,662千円
H25～30の実績額をもとに近似曲線を用いてR2見込交付者数を算出。
算出式： $y = 74.286x + 413.33$ ($y =$ 交付者数 $x =$ 年度)
 $74.286 \times 8 + 413.33 = 1007.618$ 1,008名 利用率の平均 (H28～30) : 44%
一世帯につき、500円券×12枚=6,000円 1,008名×6,000円×44%=2,661,120円

■総務(事業に属さないもの)計 3,426千円
【07報償費】192千円 【08旅費】23千円
【10需用費】消耗品費 55千円 印刷製本費 596千円
【11役務費】1,058千円
【12委託料】高齢者台帳管理システム保守管理委託 1,122千円
助成券印刷封入封かん委託 380千円
合計 6,088千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3
市民ニーズと今後の見込み	今後とも一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4
事業が計画的に進んでいるか	計画通りに進めることができた。
市の関与	2
行政が関与する必要性について	今後とも市が実施するほうがよい。
優先度	2
事業の優先度はどうか	継続して実施する必要がある。

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	276 福祉有償運送事業								
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部高齢福祉課 在宅福祉係			
総合戦略					新規・継続	継続			
					事業分類	任意的事務			
予算科目	01-030102-11 在宅高齢者等福祉事業に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
要求区分		事業期間	平成30年度～						
個別計画	つくば市高齢者福祉計画								
根拠法令					事業体制	補助金（直接）			
					市長公約				
概要									
事業の目的				事業の概要					
身体障害者、要介護認定者等の交通手段の利用を十分に確保することができない方の社会参加を促進し、福祉の増進に資する。				・道路運送法第79条の登録を受けて福祉有償運送を行う特定非営利活動法人等に対し、補助金を交付する。					
評価									
事業計画				活動実績					
・4月 つくば市福祉有償運送事業補助金交付要項施行 ・福祉有償運送事業者が円滑な運営が行えるよう、補助金を交付する。				・4月 福祉有償運送事業補助金交付申請受付、交付決定（3事業者） 3月 実績報告書提出、補助金支払い					
成果				課題					
補助金を交付することにより、福祉有償運送事業者の円滑な実施を支援し、障害者及び要支援要介護認定者その他の公共交通機関の利用が困難な者の社会参加の促進、福祉の増進等に寄与できた。				今後、利用者が増えることにより、需要に対して供給が追いつかなくなり、事業者の存続が難しくなることが危惧される。					
改善目標（R02年度にむけて）									
事業者が継続して運営できるよう引き続き支援を行うとともに、関係各所と連携して、存続について検討していく。									
指標の推移									
1	指標名	延べ利用者数					(人)		活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	1,915.0	1,969.0	2,023.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	2,846.0	2,693.0	0.0	
	指標の概要	H30年度以降の目標値は、つくば市高齢者福祉計画（第7期）のとおりとする。							
2	指標名						()		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	693	696	1,600	1,600	
事業費計		(千円)	693	696	1,600	1,600	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.40	0.30			
		時間外勤務 (時間)	8.00	42.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	2,843	2,139			
事業コスト		(千円)	3,536	2,835			

R02年度当初積算根拠	【18負担金補助及び交付金】
	<ul style="list-style-type: none"> 運営を維持するための経費 福祉有償運送の年間の延利用に応じた額 (上限額30万円) × 4事業者 = 1,200,000円 運行の安全及び利便を確保するための経費 講習及び研修並びにボランティア保険料等に係る経費 (上限額10万円) × 4事業者 = 400,000円 計 1,600千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	277 老人ホーム入所措置事業								
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部高齢福祉課 在宅福祉係			
総合戦略					新規・継続	継続			
					事業分類	法定事務			
予算科目	01-030102-12 老人ホーム入所措置に要する経費								
要求区分		事業期間			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
個別計画	つくば市高齢者福祉計画								
根拠法令	老人福祉法				事業体制	職員のみ			
					市長公約				
概要									
事業の目的				事業の概要					
<p>環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な高齢者の心身の健康保持及び生活安定を確保する。</p>				<p>・環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な65歳以上の高齢者の中で入所判定委員会により入所が必要と認められた者に対し、市の職権により養護老人ホームに入所措置し、その生活費を支弁する。 ・被措置者本人の所得に応じて、生活費の一部を徴収する。</p>					
評価									
事業計画				活動実績					
6月 措置入所者の所得確認 7月 費用徴収額決定 1月 状況訪問調査 ・例月処理 措置費支払				4～3月 老人保護措置費支払事務 6月 措置入所者（養護老人ホーム）の所得確認 7月 費用徴収額決定通知書送付 1月 施設訪問を実施し、継続して措置が必要であることを確認した。					
成果				課題					
施設担当者と連携を図って対応し、措置入所者の生活の安定に寄与することができた。				措置入所者の今後について、引き続き施設担当者との連携を図ることが必要である。					
改善目標（R02年度にむけて）									
措置入所者の施設での生活状況について詳細に調査し、適正な措置を行う。									
指標の推移									
1	指標名	措置入所者数					(人)		活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0	4.0	
	実績	4.0	4.0	3.0	3.0	3.0	3.0	0.0	
	指標の概要	H30年度以降の目標値は、つくば市高齢者福祉計画（第7期）のとおりとする。							
2	指標名						()		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	119	94	0	0
	一般財源	(千円)	5,765	5,780	6,962	0
事業費計		(千円)	5,884	5,874	6,962	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.10		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,412	679		
事業コスト		(千円)	7,296	6,553		

R02年度当初積算根拠	【07報償費】 入所判定委員会謝礼 24千円
	【10需用費】 消耗品費 3千円
	【11役務費】 切手代 2千円
	【19扶助費】
	老人ホーム入所措置費 6,741千円
	居宅サービス措置費 192千円
	計 6,962千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	3 法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について	
優先度	- 法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	253	239	321	0	
事業費計		(千円)	253	239	321	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.10			
		時間外勤務 (時間)	2.00	0.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	711	679			
事業コスト		(千円)	964	918			

R02年度当初積算根拠	【19扶助費】	
	20円×52週×(週3回×18人+週2回×6人+週1回×4人) =72,800円 (ヤクルト)	
	70円×52週×(週3回×16人+週2回×9人+週1回×2人) =247,520円 (ヤクルト以外)	
	72,800円+247,520円=320,320円	
	計 321千円	

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	280 高齢者生きがい活動支援事業							
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部高齢福祉課 在宅福祉係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-030102-14 老人生きがい対策に要する経費							
要求区分		事業期間			市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input checked="" type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input checked="" type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
個別計画	つくば市高齢者福祉計画							
根拠法令					事業体制	全て委託		
					市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
能力に応じた社会参加活動を通じた、高齢者の生きがいづくりと健康の保持を図る。				<ul style="list-style-type: none"> ・シルバークラブ大会 役員功労者表彰、感謝状贈呈、講演会等 ・シルバークラブ育成支援 年間を通じてシルバークラブ連合会の事務局として支援する。 				
評価								
事業計画				活動実績				
7月 第31回つくば市シルバークラブ大会 4月～3月 シルバークラブ育成支援				<ul style="list-style-type: none"> ・第31回つくば市シルバークラブ大会 7月4日、顕彰式典、講演会を行い、600名が参加 ・シルバークラブ育成支援 年間を通してシルバークラブ事務局業務を委託し、支援した。 				
成果				課題				
社会参加活動等を通して、高齢者の生きがいづくりに寄与できた。				シルバークラブは補助金申請など事務処理の煩雑さから、会長の後継者問題等が課題となっており、会員数が減少傾向である。				
改善目標（R02年度にむけて）								
シルバークラブの会員減少や活動活性化については、シルバークラブ会員や事務局とともに解決策を検討していく。								
指標の推移								
1	指標名	シルバークラブ連合会会員数 (人)					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7,000.0	7,200.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	6,474.0	6,569.0	0.0
	指標の概要	R1年度以降の目標値はつくば市高齢者福祉計画（第7期）のとおりとする。						
2	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	13,800	11,445	19,394	0
事業費計		(千円)	13,800	11,445	19,394	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.20		
		時間外勤務 (時間)	45.00	5.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,230	1,370		
事業コスト		(千円)	16,030	12,815		

R02年度当初積算根拠	【12委託料】
	高齢者生きがい活動支援事業 ・シルバークラブ大会 2,238千円 ・シルバークラブ育成支援 17,156千円 ・計 19,394千円

予算の方向性	理由	シルバークラブの補助金に関する業務や、育成支援事業に利用するバス賃借のための、間接経費、人件費、通信運搬費、手数料、賃借料の増のため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	281 高齢者労働能力活用事業費補助									
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部高齢福祉課 在宅福祉係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-030102-14 老人生きがい対策に要する経費									
要求区分		事業期間			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画	つくば市高齢者福祉計画									
根拠法令					事業体制	補助金（直接）				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進及び就業機会の拡大を図り、高齢者福祉の増進に資する。					・公益社団法人つくば市シルバー人材センターが円滑な運営ができるように補助金を交付する。					
評価										
事業計画					活動実績					
・公益社団法人つくば市シルバー人材センターが円滑な運営ができるように補助金を交付する。					・7月 シルバー人材センターへ補助金11,000,000円を交付 ・事業の把握、状況確認等を行った。					
成果					課題					
補助金を交付することにより、シルバー人材センターの円滑な運営を支援し、高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進等に寄与できた。					シルバー人材センターの活動内容と補助対象事業を注視し、補助金の適正な把握が必要である。					
改善目標（R02年度にむけて）										
シルバー人材センターの活動状況について、実績報告等により確認していく。										
指標の推移										
1	指標名	契約件数					(件)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	5,100.0	5,400.0	5,500.0	5,600.0	5,600.0	5,600.0	5,600.0		
	実績	5,200.0	5,058.0	5,009.0	4,962.0	4,609.0	4,390.0	0.0		
	指標の概要	H30年度以降の目標値は、つくば市高齢者福祉計画（第7期）のとおりとする。								
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	11,150	11,150	11,150	11,150
事業費計		(千円)	11,150	11,150	11,150	11,150
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.10		
		時間外勤務 (時間)	0.00	12.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	706	736		
事業コスト		(千円)	11,856	11,886		

R02年度当初積算根拠	【18負担金補助及び交付金】 (負担金) 茨城県シルバー人材センター連合会負担金 10,000円×10口=100,000円 全国シルバー人材センター協会負担金 10,000円×5口=50,000円 (補助金) 高齢者労働能力活用事業補助金 11,000,000円 計 11,150千円
-------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	4,989	4,726	5,560	0
事業費計		(千円)	4,989	4,726	5,560	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.10		
		時間外勤務 (時間)	5.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	719	679		
事業コスト		(千円)	5,708	5,405		

R02年度当初積算根拠	【12委託料】
	人件費 3,518千円 消耗品費 83千円 出前サロン講師及び参加者傷害保険料 10千円 講師料 1,279千円 車両燃料費 4千円 修繕費 84千円 通信運搬費 70千円 印刷製本費 6千円 間接経費 506千円 計 5,560千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,462	1,468	1,712	0
事業費計		(千円)	1,462	1,468	1,712	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.10		
		時間外勤務 (時間)	4.00	4.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	716	689		
事業コスト		(千円)	2,178	2,157		

R02年度当初積算根拠	【12委託料】					
	人件費 795千円					
	食料費 50千円					
	消耗品費 215千円					
	参加者傷害保険料 21千円					
	賃借料 303千円					
	車輛燃料費 16千円					
	通知等発送郵便料 42千円					
	会議費 5千円					
	賞状筆耕手数料 11千円					
租税公課費 98千円						
間接経費 156千円						
計 1,712千円						

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	284 敬老祝金給付事業								
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部高齢福祉課 在宅福祉係			
総合戦略					新規・継続	継続			
					事業分類	任意的事務			
予算科目	01-030102-15 敬老事業に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解			
要求区分		事業期間	平成17年度～			<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画			
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行			
根拠法令	つくば市敬老祝金給付条例、つくば市敬老祝金給付条例施行規則				事業体制	一部委託			
					市長公約				
概要									
事業の目的				事業の概要					
長寿を祝福し、敬老の意を表するとともに、福祉の増進に寄与するため。				<ul style="list-style-type: none"> 一般敬老祝金 年度内75歳以上（3,000円）の方へ商品券を簡易書留で郵送する。 特別敬老祝金 年度内88歳（10,000円）及び101歳以上（20,000円）の方へ商品券を簡易書留で郵送する。 年度内100歳（30,000円）の方の自宅を訪問し、敬老祝金（現金）を給付する。 					
評価									
事業計画				活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 一般敬老祝金 9月に簡易書留で順次対象者へ商品券を贈呈する。 75歳以上（3,000円）、約21,400人 特別敬老祝金 9月に簡易書留で順次対象者へ商品券を贈呈する。 88歳（10,000円）、約790人 101歳以上（20,000円）、約65人 9月に対象者宅を訪問し、祝金（現金）を贈呈する。 100歳（30,000円）、約45人 				<ul style="list-style-type: none"> 一般敬老祝金 9月に商品券を簡易書留で郵送した。 75歳以上（3,000円） 21,244人 特別敬老祝金 9月に商品券を簡易書留で郵送した。 88歳（10,000円） 772人 101歳以上（20,000円） 61人 9月に対象者宅を訪問し、敬老祝金（現金）を給付した。 100歳（30,000円） 47人 商品券の使用率 95.4% 					
成果				課題					
高齢者の方々が買い物へ出掛けるきっかけづくりとなり、地域との交流が図られるとともに、地域の商店などの活性化に貢献できた。				高齢化に伴い、対象者が年々増加しているため、事業のあり方について検討する必要がある。					
改善目標（R02年度にむけて）									
給付金額について検討する。									
指標の推移									
1	指標名	敬老祝金給付数					(人)		活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	19,145.0	19,754.0	20,551.0	20,432.0	21,484.0	22,124.0	0.0	
	指標の概要	1年以上つくば市に居住している75歳以上、88歳、100歳、101歳以上の対象者への給付数							
2	指標名						()		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	77,786	80,736	86,485	0
事業費計		(千円)	77,786	80,736	86,485	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.50		
		時間外勤務 (時間)	11.00	80.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,557	3,589		
事業コスト		(千円)	81,343	84,325		

R02年度当初積算根拠	【10需用費】	
	消耗品費 9千円 印刷製本費 100歳現金給付分のし袋印刷代 27千円 商品券印刷代 3,813千円 商品券ポスター印刷代 47千円 商品券のぼり印刷代 132千円 【11役員費】 9,318千円 【12委託料】 換金事務委託料 385千円 【19扶助費】 商品券(75歳以上：3,000円、88歳：10,000円、101歳以上：20,000円) 70,954千円 現金(100歳：30,000円)1,800千円 計 86,485千円	

予算の方向性	理由	対象者数増のため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	17,874	17,677	21,491	0
事業費計		(千円)	17,874	17,677	21,491	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.80	0.70		
		時間外勤務 (時間)	1,429.00	1,364.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	9,193	8,106		
事業コスト		(千円)	27,067	25,783		

R02年度当初積算根拠	【07報償費】 謝礼 132千円
	【10需用費】 消耗品費 418千円、食糧費5,384千円 印刷製本費 1,397千円 計7,199千円
	【11役務費】 郵便料 1,955千円、携帯電話料 10千円 手数料 1,720千円 計3,685千円
	【12委託料】 委託料865千円
	【13賃借料】 使用料214千円、バス賃借料8,575千円 無線機賃借料95千円、座布団賃借料 726千円 計9,610千円
	合計 21,491千円

予算の方向性	理由	対象者数の増により
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	286 長寿をたたえる事業							
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部高齢福祉課 在宅福祉係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-030102-15 敬老事業に要する経費			市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
要求区分		事業期間						
個別計画								
根拠法令	つくば市長寿をたたえる事業実施要項			事業体制	職員のみ			
				市長公約				
概要								
事業の目的				事業の概要				
長寿をたたえ、高齢者を敬愛する意識の啓発を図るため。				8月1日現在で市内に住所を有し、100歳の誕生日を年度内に迎える方に対し、老人週間の前後2週間以内に職員が自宅を訪問し、ほう状などを贈呈する。				
評価								
事業計画				活動実績				
・9月に対象者約45人へ直接訪問し、ほう状及び記念品を贈呈する。				9月に対象者47人の自宅を訪問し、ほう状及び記念品を贈呈した。				
成果				課題				
長寿をたたえ、高齢者を敬愛する意識の啓発を図ることができた。				高齢化で対象者が年々増加しているため、事業のあり方について検討する必要がある。				
改善目標（R02年度にむけて）								
記念品の内容について検討する。								
指標の推移								
1	指標名	年度内に100歳の誕生日を迎える対象者人数					(人)	活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	857.0	34.0	33.0	30.0	33.0	47.0	0.0
	指標の概要	H26年度までは88歳、101歳以上も対象						
2	指標名						()	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	290	400	502	0
事業費計		(千円)	290	400	502	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.20		
		時間外勤務 (時間)	3.00	10.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,126	1,382		
事業コスト		(千円)	2,416	1,782		

R02年度当初積算根拠	【07報償費】 396千円
	【10需用費】 消耗品費 18千円 印刷製本費 24千円 【11役務費】 16千円 【12委託料】 48千円 計 502千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	6,605	7,881	9,630	0	
事業費計		(千円)	6,605	7,881	9,630	0	
人件費内訳	正職員	従事割合	(人)	0.40	0.20		
		時間外勤務	(時間)	8.00	51.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有			
人件費		(千円)	2,843	1,483			
事業コスト		(千円)	9,448	9,364			

R02年度当初積算根拠	【19扶助費】						
	一人当たり交付総額 (500円×18枚) × 見込交付者数 × 見込利用率						
	9,000円 × 2,140人 × 0.5 = 9,630,000円						
	計 9,630千円						

予算の方向性	理由	
維持		

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	905	1,054	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,492	1,679	2,889	0
事業費計		(千円)	2,397	2,733	2,889	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.10		
		時間外勤務 (時間)	0.00	10.00		
	臨時職員等	(有無)	有	無		
人件費		(千円)	706	704		
事業コスト		(千円)	3,103	3,437		

R02年度当初積算根拠	【19扶助費】 H28～H30の実績とR1の当初予算額を元に近似曲線を用いて推計。 算出式： $y=267,100x+1,553,500$ (y =実績、 x =年度。便宜上、 $H28=1$ 、 $H29=2$ 、 \dots 、 $R2=5$ とする) $267,100 \times 5 + 1,553,500 = 2,889,000$ 計 2,889千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	580	556	645	0
事業費計		(千円)	580	556	645	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.10		
		時間外勤務 (時間)	0.00	10.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	706	704		
事業コスト		(千円)	1,286	1,260		

R02年度当初積算根拠	【19扶助費】
	<p>R1の実績見込は当初予算のとおり。 R2(見込) = R1実績見込 × 伸び率 = 651,000 × 0.99 = 644,490円</p> <p style="text-align: center;">計 645千円</p>

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	2,371	2,608	2,610	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	8,571	8,975	9,695	0
事業費計		(千円)	10,942	11,583	12,305	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.40	0.40		
		時間外勤務 (時間)	25.00	26.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,885	2,778		
事業コスト		(千円)	13,827	14,361		

R02年度当初積算根拠	【18負担金補助及び交付金】
	<ul style="list-style-type: none"> 県老人クラブ連合会負担金：67千円 市町村平均割 3,400円＋人口割0.269円×人口236,129人 (100円未満切捨) 市シルバークラブ連合会補助金 連合会活動助成：3,000千円 単位シルバークラブ活動助成：9,238千円 (30人未満 33,200円×5団体、30人以上50人未満 57,600円×60団体、50人以上70人未満 65,200円×60団体、70人以上90人未満 81,200円×15団体、90人以上 97,200円×5団体) <p>計 12,305千円</p>

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	291 ふれあい元気広場管理運営事業									
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部高齢福祉課 在宅福祉係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-030102-16 ふれあい元気広場管理に要する経費									
要求区分		事業期間			市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画										
根拠法令	つくば市ふれあい元気広場条例、つくば市ふれあい元気広場条例施行規則				事業体制	一部委託				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
クロッケーやその他のニュースポーツを通して、高齢者の相互交流の促進を図ることにより、高齢者の健康を増進し生きがい意欲を高める。					施設の管理 ・ふれあい元気広場のクロッケーコート・ニュースポーツコートの維持管理を行う。 ・ふれあい元気広場の休憩所の維持管理を行う。 ・高齢福祉課窓口において施設の貸出を行う。 ・作岡財産区から無償で土地の借用をし、整備管理を行っている。					
評価										
事業計画					活動実績					
4月～3月 高齢福祉課窓口での広場貸出業務 4月～12月 芝刈り・除草・施肥・除草剤散布等実施 1月～3月 樹木の剪定等の実施					4月～3月 高齢福祉課窓口にてふれあい広場貸出業務 4月～12月 広場の芝刈り（機械）3回、 除草剤散布2回、施肥1回、 芝除草人力3回実施 10月 浄化槽の修繕 3月 樹木の剪定等の実施（委託）					
成果					課題					
ふれあい元気広場施設の修繕（浄化槽ブレイア交換、トイレ修繕）を実施したことで、高齢者が安全で快適に広場を利用することができた。					利用者から施設の状態を良好にしてほしいとの要望がある。					
改善目標（R02年度にむけて）										
施設の老朽箇所の点検を行い、高齢者が快適に利用できるようにする。										
指標の推移										
1	指標名	施設貸出延べ団体数					(団体)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	560.0		
	実績	442.0	363.0	453.0	501.0	512.0	558.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,020	1,071	1,107	0
事業費計		(千円)	1,020	1,071	1,107	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.10		
		時間外勤務 (時間)	3.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	714	679		
事業コスト		(千円)	1,734	1,750		

R02年度当初積算根拠	【10需用費】	消耗品費 10千円、電気料 80千円、施設修繕料 50千円				
	【11役務費】	浄化槽手数料 8千円、火災保険料 5千円				
	【12委託料】	浄化槽維持管理委託料 55千円 ふれあい元気広場維持管理委託料 899千円 (芝刈り、除草、施肥、薬剤散布、生垣手入れ・樹木剪定業務)				
	計	1,107千円				

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	6,796	7,833	7,893	0
事業費計		(千円)	6,796	7,833	7,893	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.50		
		時間外勤務 (時間)	29.00	15.00		
	臨時職員等	(有無)	有	無		
人件費		(千円)	2,190	3,429		
事業コスト		(千円)	8,986	11,262		

R02年度当初積算根拠

【12委託料】
H29～H31上半期配食数実績から平均を算出。
(12,921食+11,192食+11,651食) / 3 = 11,922食 (半期)
11,922 × 2 = 23,844食 (年間)
利用者割合から1食あたりの市負担額平均を算出。
市負担額：一般世帯315円
生活保護世帯415円 315 × 0.84 + 415 × 0.16 = 331円
上記より、R2支出見込額を算出。
23,844食 × 331円 = 7,892,364円
計 7,893千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	293 つくば市高齢者福祉計画事業									
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部高齢福祉課 計画・施設係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	法定＋任意				
予算科目	01-030102-22 高齢者福祉計画の策定に要する経費				市民参加	■ 共有、理解				
要求区分	事業期間 令和元年度～令和 3年度					■ 企画・立案、計画				
個別計画	老人福祉計画、介護保険事業計画、高齢者居住安定確保計画					■ 実行				
根拠法令	老人福祉計画、介護保険法、高齢者の居住の安定確保に関する法律				事業体制	一部委託				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
計画を策定し、高齢者福祉施策の推進を図る。					<ul style="list-style-type: none"> 老人福祉及び介護保険の一体的な展開が図られるように「つくば市高齢者福祉計画」を策定する。 					
評価										
事業計画					活動実績					
6月 高齢者福祉推進会議市民委員の一般公募 8月 高齢者福祉推進会議委員の決定 9月 第1回高齢者福祉推進会議開催 11月 第2回高齢者福祉推進会議開催 12月 第3回高齢者福祉推進会議開催 12月 アンケート調査					計画策定のための 6月 高齢者福祉推進会議市民委員の一般公募 8月 高齢者福祉推進会議委員の決定 9月 第1回高齢者福祉推進会議開催 1月 アンケート調査					
成果					課題					
つくば市高齢者福祉計画（第8期）の策定に向けて準備を進めることができた。					アンケートの回答率を向上させることが難しかった。					
改善目標（R02年度にむけて）										
アンケート結果をもとに高齢者福祉推進会議で意見を聴きながら高齢者福祉計画を策定する。										
指標の推移										
1	指標名	会議の開催回数					(回)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	6.0	2.0	2.0	6.0	1.0	3.0	3.0		
	実績	6.0	2.0	3.0	6.0	0.0	1.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	1,231	5,406	3,860	277	
事業費計		(千円)	1,231	5,406	3,860	277	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.50			
		時間外勤務 (時間)	0.00	20.00			
	臨時職員等	(有無)	有	無			
人件費		(千円)	1,412	3,442			
事業コスト		(千円)	2,643	8,848			

R02年度当初積算根拠	【07報償金】 高齢者福祉推進会議委員謝礼 8,000円×17人×5回=680,000円 計 680千円
	【08普通旅費】 研修会普通旅費 2,300円×3名×7日=48,300円 計 49千円
	【10需用費】 推進会議時飲み物代 140円×17名×5回=11,900円 高齢者福祉計画印刷代 1,470円×200冊×1.1=323,400円 (計画) 630円×250冊×1.1=173,250円 (概要版) 計 509千円
	【12委託料】 高齢者福祉計画策定支援業務委託料 2,383,200円×1.1=2,621,520円 計 2,622千円
	合計 3,860千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	410	410
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	190	144	0	0
事業費計		(千円)	190	144	410	410
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	3.70	3.40		
		時間外勤務 (時間)	470.00	500.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	27,278	25,235		
事業コスト		(千円)	27,468	25,379		

R02年度当初積算根拠	【07報償費】 地域密着型サービス運営委員会委員謝礼 320千円
	【10需用費】 事務用消耗品 35千円 図書 49千円 食糧費 6千円 計410千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	3 法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について	
優先度	- 法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか	

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	296 高齢者健康遊具事業							
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部高齢福祉課 在宅福祉係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-030102-23 老人福祉施設整備に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
要求区分		事業期間						
個別計画								
根拠法令					事業体制	一部委託		
					市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
自由に入出りできる公園に健康遊具を設置することで、運動習慣を身につけてもらい、高齢者の外出支援と健康維持を図る。				二の宮公園、荃崎運動公園、大池公園、梅園公園、谷田部多目的広場、花畑近隣公園、川口公園の市内7か所に設置してある高齢者健康遊具の点検及び修繕を行う。				
評価								
事業計画				活動実績				
7月～8月 点検事業者による健康遊具市内7か所の点検を実施する。				11月 点検事業者による健康遊具市内7か所の点検を実施し、安全確保を図り、利用率向上に努めた。 高齢福祉課の窓口だけでなく、各窓口センターにもパンフレットを配置し、事業周知を行った。				
成果				課題				
健康遊具の安全を確保し、市民の健康増進に寄与した。				点検を実施し、健康遊具の安全を保持するとともに、継続的な事業周知、健康遊具の安全確保を図っていくことが必要である。				
改善目標（R02年度にむけて）								
継続して健康遊具の安全確保を図っていく。								
指標の推移								
1	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
2	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	264	286	490	490
事業費計		(千円)	264	286	490	490
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.10		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	706	706		
事業コスト		(千円)	970	992		

R02年度当初積算根拠	【10需用費】 高齢者健康遊具修繕料 200千円
	【12委託料】 高齢者健康遊具点検委託料 290千円 計 490千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ 市民ニーズと今後の見込み	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況 事業が計画的に進んでいるか	3 やや遅れたが、今年度の実施計画を達成した。
市の関与 行政が関与する必要性について	2 今後も市が実施するほうがよい。
優先度 事業の優先度はどうか	2 継続して実施する必要がある。

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	17,260	17,718	18,324	0
	県支出金	(千円)	8,630	8,859	9,162	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	8,630	8,859	9,162	0
	一般財源	(千円)	10,311	12,604	10,947	0
事業費計		(千円)	44,831	48,040	47,595	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	0.00	52.00		
	臨時職員等	(有無)	有	無		
人件費		(千円)	1,412	1,485		
事業コスト		(千円)	46,243	49,525		

R02年度当初積算根拠

【19扶助費】
H26～H30の実績とR1の当初予算額を元に近似曲線を用いて推計。
算出式： $y = 1,587,683x + 36,480,990$
(y=実績、x=年度。便宜上、H26=1、H27=2、…R2=7とする)
 $1,587,683 \times 7 + 36,480,990 = 47,594,771$ 計47,595千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	91	0	0	0
	県支出金	(千円)	45	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	45	0	0	0
	一般財源	(千円)	55	0	0	0
事業費計		(千円)	236	0	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	0.00		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	0	0		
事業コスト		(千円)	236	0		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	
--------	----	--

方向性		
市民ニーズ		
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況		
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与		
行政が関与する必要性について		
優先度		
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	300 つくば市高齢者地域ふれあいサロン活動支援事業									
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部高齢福祉課 計画・施設係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	08-030201-16 高齢者地域ふれあいサロンに要する経				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input checked="" type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input checked="" type="checkbox"/> 実行 <input checked="" type="checkbox"/> 評価・検証				
要求区分		事業期間	平成30年度～							
個別計画										
根拠法令						事業体制	補助金（直接）			
					市長公約	30				
概要										
事業の目的					事業の概要					
介護予防・日常生活介護支援総合事業により、体操、運動等の活動など自主的な通いの場提供のための支援を行う。					・高齢者を中心とした地域住民が気軽に通うことができ、高齢者の介護予防及び孤立化防止のため、週1回以上活動を行う団体へ補助金を交付する。					
評価										
事業計画					活動実績					
4月 HP、広報紙掲載により周知 4月～12月 補助金交付申請書提出 4月～12月 補助金交付決定 3月 実績報告書提出 3月 補助金の確定					サロン団体数6件 団体立ち上げの相談や活動を行う中で困っていることなど相談しながら進めることができた。 4月 HP、広報紙掲載により周知 4月～12月 補助金交付申請書提出 4月～12月 補助金交付決定 3月 実績報告書提出 3月 補助金の確定					
成果					課題					
補助金を交付することにより、自主的な通いの場を提供するための支援ができた。										
改善目標（R02年度にむけて）										
指標の推移										
1	指標名	活動団体数 (団体)						活動指標		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	7.0	10.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	6.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名	延べ利用者数 (人)						活動指標		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	2,302.0	6,570.0	0.0		
	指標の概要									

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	134	360	508	0	
	県支出金	(千円)	75	203	287	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	237	641	908	0	
	一般財源	(千円)	154	421	597	2,300	
事業費計		(千円)	600	1,625	2,300	2,300	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20			
		時間外勤務 (時間)	20.00	10.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	1,462	1,437			
事業コスト		(千円)	2,062	3,062			

R02年度当初積算根拠	【18負担金補助及び交付金】						
	活動開始準備費						
	50,000円×1団体=50,000円						
	150,000円×1団体=150,000円						
	300,000円×1団体=300,000円						
	活動費補助金						
	50,000円×3団体=150,000円						
150,000円×3団体=450,000円							
300,000円×4団体=1,200,000円							
計 2,300千円							

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	2	計画から遅れている。(未達成)
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	3	他の事業に優先して進める必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	301 つくば市介護人材確保事業									
戦略プラン						担当部課 係名	保健福祉部高齢福祉課 計画・施設係			
総合戦略						新規・継続	継続			
						事業分類	任意的事務			
予算科目	01-030102-25 介護施設支援に要する経費					市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input checked="" type="checkbox"/> 評価・検証			
要求区分		事業期間	平成28年度～							
個別計画	つくば市高齢者福祉計画 つくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略									
根拠法令						事業体制	補助金（間接）			
						市長公約				
概要										
事業の目的					事業の概要					
高齢化率及び高齢者数の増加に対し、市内介護従業者の確保・定着を促進し、介護サービスの安定した供給及びサービスレベルの向上を図る。					<ul style="list-style-type: none"> つくば市介護職員就労スタートアップフォロー事業 介護業界未経験者の方で、市内介護事業所に新規に就労する方に対し、一時金を助成する。 つくば市介護職員キャリアアップ費用助成事業 市内介護事業所に6か月以上就労している方で、介護職員初任者研修又は実務者研修を修了した者に対し、研修費用の一部助成を行う。 					
評価										
事業計画					活動実績					
8月 つくば市ホームページへの掲載、広報紙への掲載 9月 つくば市特別養護老人ホーム連絡会にて説明 12月 市内介護事業所及び障害福祉サービス事業所へ給付金申請実施について事前通知 2月 つくば市広報紙への掲載、給付金の申請受付実施 3月 交付決定通知書の送付及び支払い					スタートアップ30件 キャリアアップ5件 8月 つくば市ホームページへの掲載、広報紙への掲載 1月 市内介護事業所及び障害福祉サービス事業所へ給付金申請実施について事前通知 2月 つくば市広報紙への掲載、給付金の申請受付実施 3月 交付決定通知書の送付及び支払い					
成果					課題					
対象者を拡大することによって、人材の確保ができ、施設職員の資質向上につながった。					給付金の対象になる条件がわかりにくい。					
改善目標（R02年度にむけて）										
給付金の対象となる条件が複雑なため、窓口で丁寧に説明を行う。										
指標の推移										
1	指標名	補助金の交付人数					(人)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0		
	実績	0.0	0.0	13.0	9.0	33.0	35.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,517	1,594	2,000	0
事業費計		(千円)	1,517	1,594	2,000	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.10		
		時間外勤務 (時間)	20.00	5.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,462	719		
事業コスト		(千円)	2,979	2,313		

R02年度当初積算根拠	【18負担金補助及び交付金】
	介護職員就労スタートアップフォロー事業 (50,000円×17名) + (30,000円×5名) =1,000,000円 介護職員キャリアアップ費用助成事業 50,000円×20名=1,000,000円 計 2,000千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	302 生活支援サポーター養成研修事業									
戦略プラン						担当部課 係名	保健福祉部高齢福祉課 計画・施設係			
総合戦略						新規・継続	継続			
						事業分類	任意的事務			
予算科目	01-030102-25 介護施設支援に要する経費						<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
要求区分		事業期間	平成30年度～			市民参加				
個別計画	つくば市高齢者福祉計画									
根拠法令					事業体制	全て委託				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービス（基準緩和型）事業所の人材確保					外部事業者に委託して市の独自研修（旧ヘルパー3級）を年2回実施する。					
評価										
事業計画					活動実績					
6月、9月 HP、広報紙掲載（募集） 7月、11月 市独自研修実施					7月研修修了者 11名、2月は申込者が少なかったため中止 6月 HP、広報紙掲載（募集） 7月 市独自研修実施					
成果					課題					
市独自研修を実施し、必要な知識・技能を習得した生活支援サポーターを養成することができた。					申込者が少ない。					
改善目標（R02年度にむけて） 申込者が少ないため次年度は休止										
指標の推移										
1	指標名	研修回数					(回)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	1.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名	研修修了者数					(人)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	23.0	11.0	0.0		
	指標の概要									

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	507	514	0	0
事業費計		(千円)	507	514	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.10		
		時間外勤務 (時間)	20.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,462	706		
事業コスト		(千円)	1,969	1,220		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	申込者が少ないため休止
休止		

方向性		
市民ニーズ	2	今後は減少すると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	2	計画から遅れている。(未達成)
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	-	今年度で事業が終了する。
行政が関与する必要性について		
優先度	1	事業の継続について検討する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	934	716	838	0
	一般財源	(千円)	17,819	21,461	22,950	0
事業費計		(千円)	18,753	22,177	23,788	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	1.00		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	7,057	6,783		
事業コスト		(千円)	25,810	28,960		

R02年度当初積算根拠	前年度事業の継続実施と計画的施設修繕に要する経費及び突発的な修繕経費を積極的に計上した。					
	【10需用費】 12,323千円 【11役務費】 5,335千円 【12委託料】 3,748千円 【13使用料及び賃借料】 710千円 【14工事請負費】 1,672千円 計 23,788千円					

予算の方向性	理由	老朽化に伴う施設の修繕が必要なため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	5	当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	1,221	1,214	1,031	0	
	一般財源	(千円)	33,013	33,267	35,216	0	
事業費計		(千円)	34,234	34,481	36,247	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	2.00	2.00			
		時間外勤務 (時間)	29.50	45.00			
	臨時職員等	(有無)	有	有			
人件費		(千円)	14,188	13,677			
事業コスト		(千円)	48,422	48,158			

R02年度当初積算根拠	[既存事業] 計：34,718千円						
	【10需用費】 消耗品費・燃料費・光熱水費・修繕料等：15,642千円						
	【11役務費】 通信運搬費・手数料・保険料：8,244千円						
	【12委託料】 施設管理委託料：10,039千円						
	【13使用料及び賃借料】 複写機・カラオケ機器・AED：703千円						
	【17備品】 事務用シュレッダー・高圧洗浄機)：90千円						
	[新規事業] 計：1,529千円						
【10需用費】 (施設修繕料)							
貯水槽止水及び入水弁修繕：429千円							
【12委託料】 (設計委託料)							
貯湯槽改修工事設計業務委託：1,100千円							
[合計]：36,247千円							

予算の方向性	理由	老朽化に伴う施設の修繕が必要なため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	1	民間等への移管を検討する必要がある。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	301	256	278	0
	一般財源	(千円)	5,780	10,735	5,324	0
事業費計		(千円)	6,081	10,991	5,602	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.60	0.60		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	4,235	4,070		
事業コスト		(千円)	10,316	15,061		

R02年度当初積算根拠	【10需用費】	消耗品費 198千円、光熱水費 727千円、食糧費 22千円、修繕料 300千円	小計 1,247千円
	【11役務費】	通信運搬費 113千円 手数料 2,951千円 (窓口受付員・清掃員派遣手数料2,900千円) 保険料 25千円	小計 3,089千円
	【12委託料】	施設管理委託料580千円 (警備、消防設備点検、空調機器、井戸水滅菌機保守点検、植栽維持管理)	
	【13使用料及び賃借料】	通信カラオケ機器、AED 686千円	合計 5,602千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	1	計画から大幅に遅れている。(未達成)
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	1	民間等への移管を検討する必要がある。
行政が関与する必要性について		
優先度	1	事業の継続について検討する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	392	389	325	0
	一般財源	(千円)	32,264	19,419	20,135	0
事業費計		(千円)	32,656	19,808	20,460	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	2.00	2.40		
		時間外勤務 (時間)	60.00	26.50		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	14,263	16,346		
事業コスト		(千円)	46,919	36,154		

R02年度当初積算根拠	【10需用費】	消耗品費 602千円、燃料費2,178千円、食糧費33千円、光熱水費5,282千円
		修繕料 761千円、肥飼料費 12千円 小計 8,868千円
	【11役務費】	通信運搬費 615千円、手数料2,003千円、保険料43千円 小計2,661千円
	【12委託料】	施設管理委託料 5,212千円
	【13使用料及び賃借料】	賃借料 2,190千円
	【14工事請負費】	修繕工事 1,529千円 合計20,460千円

予算の方向性	理由	老朽化に伴う施設の修繕が必要なため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	963 要介護度改善ケア給付金交付事業									
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部高齢福祉課 計画・施設係				
総合戦略					新規・継続	新規				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-030102-25 介護施設支援に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解				
要求区分		事業期間	令和元年度～			<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画				
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行				
						<input type="checkbox"/> 評価・検証				
根拠法令	つくば市要介護度改善ケア給付金交付要綱				事業体制	補助金（直接）				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
職員の意欲向上及び良質な介護サービスの継続的な提供					・市内の特別養護老人ホーム（地域密着型含む）において、入所者の要介護度が改善された場合、要介護度の軽減に資するサービスの提供及び介護度改善に向けた取組を評価し、施設に給付金を交付する。					
評価										
事業計画					活動実績					
6月 特別養護老人ホーム連絡会で周知 11月 当該事業所へ文書で周知 12月 申請 1月 交付決定 2月 支払い					事業所への周知を行い、申請受付することができた。 6月 特別養護老人ホーム連絡会で周知 11月 当該事業所へ文書で周知 12月 申請 1月 交付決定 2月 支払い					
成果					課題					
職員の意欲の向上が図られ、良質なケアの継続的な提供ができた。					事業の目的を十分には理解してもらえなかったため、更に事業の周知を行う必要がある。					
改善目標（R02年度にむけて） 引き続き事業の目的を周知していく。										
指標の推移										
1	指標名	要介護度改善者数					(人)		成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.0	42.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名								()	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	850	2,100	0
事業費計		(千円)	0	850	2,100	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	0.10		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	0	679		
事業コスト		(千円)	0	1,529		

R02年度当初積算根拠	【18負担金補助及び交付金】
	50,000円×42名=2,100,000円 計 2,100千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	340	461	0
事業費計		(千円)	0	340	461	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	0.10		
		時間外勤務 (時間)	0.00	5.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	0	719		
事業コスト		(千円)	0	1,059		

R02年度当初積算根拠	【18負担金補助及び交付金】
	72件×6,400円=460,800円 計 461千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	0	1,136	921	0	
事業費計		(千円)	0	1,136	921	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	0.10			
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	0	679			
事業コスト		(千円)	0	1,815			

R02年度当初積算根拠	【10需用費】 消耗品 1,793円 2千円
	【11役務費】 通信運搬費 5,520円 6千円
	【13使用料及び賃借料】 台帳システム賃借料 912,384円 913千円
	計 921千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	3,814	4,483	0
事業費計		(千円)	0	3,814	4,483	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	0.50		
		時間外勤務 (時間)	0.00	404.00		
	臨時職員等	(有無)	無	有		
人件費		(千円)	0	4,387		
事業コスト		(千円)	0	8,201		

R02年度当初積算根拠	【07報償費】 報償金 86千円
	【10需用費】 消耗品費 265千円、食糧費 918千円、印刷製本費 77千円
	【11役務費】 手数料 45千円、通信運搬費 14千円
	【12委託料】 委託料 548千円
	【13使用料及び賃借料】 バス賃借料 2,530千円
	計 4,483千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	265	240	264	264
	一般財源	(千円)	6,241	5,833	7,397	7,397
事業費計		(千円)	6,506	6,073	7,661	7,661
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.40		
		時間外勤務 (時間)	18.00	30.00		
	臨時職員等	(有無)	有	無		
人件費		(千円)	3,574	2,788		
事業コスト		(千円)	10,080	8,861		

R02年度当初積算根拠

【11役務費】計 24千円
 (福祉電話基本料) 1,774円×1台×12月=21,288円
 (口座振替手数料) 15円×35人×2回=1,050円

【12委託料】計 7,637千円
 (既存分) 2,600円×12月×200台×1.1=6,864,000円
 (新規設置予定分) 2,600円×12月×30台×1.1×0.75=772,200円
 ※2,600円の内訳(緊急通報対応1,700円、機器代900円)
 合計 7,661千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	294 地域密着型サービス整備費等補助事業									
戦略プラン	I	1	1	高齢者支援体制の整備	担当部課 係名	保健福祉部高齢福祉課 計画・施設係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-030102-23 老人福祉施設整備に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解				
要求区分	事業期間					<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画				
個別計画	つくば市高齢者福祉計画					<input type="checkbox"/> 実行				
根拠法令						<input type="checkbox"/> 評価・検証				
					事業体制	職員のみ				
					市長公約	29				
概要										
事業の目的					事業の概要					
つくば市高齢者福祉計画に基づき介護施設を整備し、高齢者福祉の向上を図る。					・つくば市高齢者福祉計画の推進にあたり、地域密着型サービス拠点整備を支援するため、県の施設整備補助金を活用する。					
評価										
事業計画					活動実績					
・地域密着型特別養護老人ホームの新設にあたり、茨城県の補助金の範囲内で事業者に補助金を交付する。 5月 県から内示 6月末 市から事業者へ内示 7月 工事入札、契約、着工 2月 工事完了 3月 実績報告書を県に提出					茨城県の補助金を活用し事業を実施している。年度内完成しなかったため、県へ繰越の申請をした。 5月 要項制定 5月 県から内示・県へ申請 6月末 市から事業者へ内示 7月 市から事業者へ決定通知送付 10月 工事入札、契約、着工 1月 県へ繰越申請					
成果					課題					
10月に事業所の入札を実施した。					年度内完成しなかったことによるサービス提供の遅れが生じた。					
改善目標（R02年度にむけて）										
R2年秋から開所できるよう、定期的に状況確認をしていく。										
指標の推移										
1	指標名	地域密着型介護老人福祉施設の定員数 (人)						活動指標		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	87.0	116.0	116.0	145.0	145.0	145.0	203.0		
	実績	87.0	116.0	116.0	145.0	145.0	145.0	0.0		
	指標の概要	つくば市高齢者福祉計画（第7期）のとおりとする。								
2	指標名	()								
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	57,052	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	112	0	0	0	
事業費計		(千円)	112	0	57,052	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.40			
		時間外勤務 (時間)	55.00	20.00			
	臨時職員等	(有無)	有	無			
人件費		(千円)	2,255	2,764			
事業コスト		(千円)	2,367	2,764			

R02年度当初積算根拠	【18負担金補助及び交付金】	
	介護施設開設準備経費補助金	839,000円×29床×1施設=24,331,000円 839,000円×(29床+10床)×1施設=32,721,000円 計 57,052,000円
	※R01年度からの繰越	
	介護施設整備事業費補助金	304,640,000円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	2	計画から遅れている。(未達成)
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	299 ICT高齢者いきいき健康アップ事業									
戦略プラン	I	1	1	高齢者支援体制の整備			担当部課 係名	保健福祉部高齢福祉課 在宅福祉係		
総合戦略							新規・継続	継続		
							事業分類	任意的事務		
予算科目	08-030201-11		ICT高齢者いきいき健康アップ事業							
要求区分			事業期間	平成25年度～令和 2年度						
個別計画	高齢者福祉計画		市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証						
根拠法令	つくば市ICT高齢者いきいき健康アップ事業実施要項			事業体制	一部委託					
			市長公約	31						
概要										
事業の目的					事業の概要					
活動量計を身に付けて歩き、歩数及び運動強度を確認することにより、運動を習慣化し、介護予防や健康づくりを推進する。					参加者は歩数及び運動強度のデータを市内8か所に設置してあるタブレットから送信する。2か月に1度運動結果を送付し、健康データの「見える化」に取り組む。					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> ・年2回 新規参加者募集 ・年2回 新規参加者事業説明会及び体力測定 ・2月 全参加者を対象とした体力測定の実施 ・4、6、8、10、12、2月 月間の運動結果送付 					<ul style="list-style-type: none"> ・4～5月、8～9月 新規参加者募集 ・6月、10月 新規参加者事業説明会及び体力測定 ・2月 全参加者を対象とした体力測定の実施 ・4、6、8、10、12、2月 月間の運動結果送付 ・新規参加者募集のため、広報紙及びホームページで事業の周知を行った。 ・新規参加者32人 ・体力測定（2月）198人 					
成果					課題					
歩数などの運動結果をフィードバックすることで、参加者の運動に対する意識を向上させることができた。					水没などの故障による退会者も多いため、継続して参加できる環境づくりが必要である。					
改善目標（R02年度にむけて）										
活動量計やタブレットの不具合などについては、委託業者と連携を図る。										
指標の推移										
1	指標名	参加者数					(人)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	335.0	400.0	500.0	500.0	435.0	470.0	500.0		
	実績	323.0	354.0	363.0	404.0	413.0	412.0	0.0		
	指標の概要	年度末現在の参加人数を指標とする。 H30年度以降の目標値は、つくば市高齢者福祉計画（第7期）のとおりとする。								
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	1,230	1,123	1,474	0
	県支出金	(千円)	684	633	833	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	2,321	2,117	2,732	0
	一般財源	(千円)	1,398	1,310	1,727	0
事業費計		(千円)	5,633	5,183	6,766	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.50		
		時間外勤務 (時間)	4.00	20.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,539	3,442		
事業コスト		(千円)	9,172	8,625		

R02年度当初積算根拠	【07報償費】 指導員謝礼 117千円
	【10需用費】 事務用消耗品 30千円 参加記念品 149千円
	【11役務費】 93千円
	【12委託料】 健康データ管理システム管理及び運用業務委託 H28～R1 参加者分 5,074千円 (債務負担行為済) R2 新規参加者100名分 1,303千円
	計 6,766千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	1 事業の継続について検討する必要がある。
事業の優先度はどうか	